

食べ物の正しい知識・料理を作る楽しさを体験することを目的に「おやこの食育教室」が、1月11日(土)すくすくしたまえ館で行われました。

この日は、指導する食生活改善推進員と親子連れなど25人が参加しました。

はじめに食べ物の正しい知識を学んでもらうためにバランスプレートをつかって食べ物を選び、バランスの良い食習慣の大切さを身につけてもらいました。

続いて調理体験では、にんじんおにぎり、ハンバーグ、スープ、小松菜とハムの和え物、デザート(ミルク



こうやってまぜてね!

クミかん)に挑戦しました。大人は見守るだけで、主に子供たちが担当しましたが、包丁の使い方も手際よく、楽しみながら調理しました。

試食後は子どもたちが「食べ物の栄養がわかった、小松菜が苦手だったけど、今日自分で作っておいしいと思った」と感想を述べ、指導員たちは「自分で作ることで、食べようという気持ちになり、好き嫌いを克服できる機会につながってくれればうれしい」と話していました。



ハンバーグづくり

農業経営のパートナーとして

家族経営協定
合同調印式

家族みんなが農業経営に参画できる環境を整備していくことを目的に、12月18日(水)役場で「中泊町家族経営協定合同調印式」が行われました。

式では松館農業委員会長が「本協定締結を契機に、農業経営のパートナーとして、お互いの役割を十分に認識され、柔軟な発想や創意工夫のもと、消費者ニーズに対応した足腰の強い経営を進めていただきたい」とあいさつ。続いて、12家族が順に松館農業委員会長、田中県民局農業普及指導室長の立会いで協定書に署名・押印しました。

最後は参加した家族らを代表し、秋元通中さんが「家族全員がお互いの立場やプライバシーを尊重し合い、各自がやりがいをもって能力を十分に発揮できるようにしたい。豊かでゆとりある農業経営と生活を築いていくことを目標に、家族が話し合い、力を合わせて

農業に取り組むたい。協定書を尊重し、農業の明るい未来に向かって頑張っていく」と決意を述べ、調印式を終了しました。



合同調印式に参加したみなさん

